

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築設計製図 I	担当教員	清水隆宏 今田太一郎 藤田大輔 大前貴裕(非常勤)			
学年学科	3年 建築学科	通年	必修	4 単位		
学習・教育目標	(D-4) 60% (E) 33% (B-2) 7%					
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 建築設計は、複数の専門知識を統合して行われる作業である。また、設計条件によって計画も左右される。本演習では、概括的な総合能力を養うことを目的とする。 ①設計条件、社会的要請に応えることができる。 ②各種施設のプログラム（機能など）を構成できる。 ③的確に施設計画を計画できる。 ④計画内容を的確に伝え、表現することができる。		<b>成績評価の方法：</b> 総得点 400 点に占める得点率をもとに評価を行う；第一課題（100 点）、第二課題（100 点）、第三課題（100 点）、第四課題（100 点）とする。総合評価の重み付けは各課題の配点比に従う。ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。また、課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。				
		<b>達成度評価の基準：</b> ①課題にふさわしいコンセプトを作成できる。（7割） ②的確な機能・空間構成を行える。（7割） ③多角的な視点から、施設の機能、空間を検討し、創造的に組み立てることができる。（7割） ④明快かつ、美しいプレゼンテーションおよび説明によって、計画内容を相手に的確に伝えることができる。（7割）				
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> ・課題の対象施設の様々な事例を、授業で示される例だけではなく、積極的に雑誌・資料集などにより調べること。 ・授業計画を基に、主体的にスケジュールを立て、授業時のエスキースチェックを参考にしながら着実に計画を進め、締め切り間際に作業が集中しないようにする。 ・常に図面やスタディ模型の作成などによって、考えを形にしていくこと。						
教科書および参考書：日本建築学会編 コンパクト建築設計資料集成（丸善）						
授業の概要と予定：前期						
第一課題：個人住宅（木造）の計画 担当：清水隆宏						
第 1 回：課題提示・説明						
第 2～7 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）						
第 8 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）						
第二課題：公共施設 担当：今田太一郎						
第 9 回：課題提示・説明						
第 10 回～14 回：エスキースチェック 1～5（コンセプト、平面図、立断面図）						
第 15 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）						
授業の概要と予定：後期						
第三課題：保育園建築 担当：藤田大輔						
第 16 回：課題提示・説明						
第 17～22 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）						
第 23 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）						
第四課題：集合住宅の計画 担当：大前貴裕						
第 24 回：課題提示・説明						
第 25～29 回：エスキースチェック 1～5（コンセプト、平面図、立断面図）						
第 30 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）						